

磐城新聞

休刊 大祭第一日 第二日 第三日 第四日 第五日 第六日 第七日 第八日 第九日 第十日 第十一日 第十二日 第十三日 第十四日 第十五日 第十六日 第十七日 第十八日 第十九日 第二十日 第二十一日 第二十二日 第二十三日 第二十四日 第二十五日 第二十六日 第二十七日 第二十八日 第二十九日 第三十日 第三十一日 第三十二日 第三十三日 第三十四日 第三十五日 第三十六日 第三十七日 第三十八日 第三十九日 第四十日 第四十一日 第四十二日 第四十三日 第四十四日 第四十五日 第四十六日 第四十七日 第四十八日 第四十九日 第五十日 第五十一日 第五十二日 第五十三日 第五十四日 第五十五日 第五十六日 第五十七日 第五十八日 第五十九日 第六十日 第六十一日 第六十二日 第六十三日 第六十四日 第六十五日 第六十六日 第六十七日 第六十八日 第六十九日 第七十日 第七十一日 第七十二日 第七十三日 第七十四日 第七十五日 第七十六日 第七十七日 第七十八日 第七十九日 第八十日 第八十一日 第八十二日 第八十三日 第八十四日 第八十五日 第八十六日 第八十七日 第八十八日 第八十九日 第九十日 第九十一日 第九十二日 第九十三日 第九十四日 第九十五日 第九十六日 第九十七日 第九十八日 第九十九日 第一百日

民政黨の資格如何(上)

俗に謂ふ一人の噂も七十五日さうも失態無能の輩を暴露したる前内閣の民は、震怒の形に於て充分なりし政黨が崩壊以來、半世紀の救済資金にて充分なりし現内閣が七億圓の資金を擁して何事をも爲し得ず、追ひかたが何處へ行つて小川の瀬へ歩み寄つて冠つてゐた假面を脱いだ。城の大手先は一本街道とされ、石出忠太郎義勇隊の隊員は、その先頭を走つたに、忠太郎は顔の汗を拭き、小川に足で水を掬つて、咽喉を潤はした。



洗つて血を洗

「ほんにさうでもありません、それは例の松本から右へ折れた野中下小川が流れてゐた。第二の怪人組は、命を危ういところでありました。」

高久病院

平町田町 電話五二一三番

「うむ、風の如く現れ風の如く消れるとは彼等のことわざだ。」

耳鼻科専門

大和田醫院 平町南町(電一七〇番)

佐藤材木店

常磐線平町 新川町 電話三三五番

短期五日間特別公開(十日)

無茶修業 全七巻 高木新平 久松加代子 町田武雄 共演

戀の歌

七巻 岡本五郎、名和英子、學生の名技

萬年瓦株式會社

指定品 青森縣廳 青森縣廳 青森縣廳

松村病院

内科 外科 皮膚科 泌尿科

平町吉田眼科醫院

清造元 清水屋 小野晋平

二ツ夕醬油

特約店 廣瀬支店 電話五四番

磐城病院

内科 外科 婦人科 小兒科 花柳病科

山野邊藥局

代理店 平町五丁目

青麻山 中風靈藥

定價一週分九〇 二週分一七〇 三週分二五〇

六六六胃腸藥

御宴會 新年會 特別に勉強

俺れ等の山を後に 失職の一千名

王城炭礦遂に休止 悲しき最後の奉仕

石城郡川部村の王城炭坑は、遂に休止せられた。これにより、約二千名に達する労働者に、失業の憂が降りかかると見られる。原因は、世に取って採掘が困難な状態に陥ったこと、また、石炭の需要が減少したためである。労働者たちは、長い年月をこの炭坑で過ごし、家族を養ってきた。この休止は、彼らにとって、悲しき最後の奉仕となる。多くは、生活の糧を失い、将来の希望も失った。この事態を憂う人々も少なくない。

色魔辯士大森を 検事正が上告

少女暴行事件を中心に 懐疑は懐疑を生む

色魔辯士として世人を驚かす大森八郎の判決が、検事正の上告を受けた。この事件は、少女暴行事件と関係がある。大森は、この事件で有罪と認められた。しかし、検事正は、判決に納得がいかない。特に、大森の弁護が、事件の真相を隠蔽しているのではないかと懐疑を生んでいる。この上告は、大森の無罪を主張している。検事正は、大森の行為が、社会の道徳を害しているとして、上告した。

生産者自覚して 米仲買人困る

各種の事情を推し 石城米界の革命

石城米界の革命が、生産者の自覚によって進んでいる。米仲買人は、従来のやりかたで米を買い取っていたが、生産者は、自分の権利を主張し、米の価格を上げようとしている。これは、米仲買人に大きな打撃を与えている。生産者は、米の品質を高め、価格を上げることで、自分の生活を改善しようとしている。これは、米界の大きな変化である。米仲買人は、この変化に対応できずに困っている。

龍門寺と辨財天 池中に沈む伝説

初瀬の献上と雨乞ひ

龍門寺の辨財天の伝説が、池中に沈むという。これは、初瀬の献上と雨乞ひの儀式と関係がある。辨財天は、財を司る神である。龍門寺では、毎年、辨財天の御神体を池中に沈め、雨乞ひをする。これは、古くからの伝説である。辨財天は、池中に沈むと、雨を降らせると信じられている。この伝説は、龍門寺の歴史と深く関係している。

地方官異動決定 別宮警察部長と

愛知學務部長人代換へ

地方官の異動が決定された。別宮警察部長と愛知學務部長の交代が行われる。これは、地方自治体の刷新の一環として行われている。別宮警察部長は、長年にわたって地方自治体の発展に貢献してきた。愛知學務部長は、教育の分野で大きな功績を挙げている。この交代は、地方自治体のさらなる発展を期している。

石城地方の 用水不足

降雨が少なく 農作物の生育に支障

石城地方で用水不足の問題が深刻化している。降雨が少なく、農作物の生育に支障をきたしている。これは、農家の生活に大きな影響を与えている。用水不足は、農家の収入を減らし、生活の困窮を招いている。政府や自治体は、用水不足の解消に努めている。しかし、降雨が少ないため、効果は限られている。

町長支會の 評議員會

明後日は總會

町長支會の評議員會が開かれた。明後日は總會が開かれる。これは、町長支會の重要な会議である。評議員會では、町長支會の運営について話し合われた。明後日の總會では、町長支會の今後の方針について話し合われる。町長支會は、町民の生活の向上に努めている。

多年の蓄財を投じ 母校へ時計を寄附

大谷商店の秋山君 感心を博す模範行為

大谷商店の秋山君が、多年の蓄財を投じて母校へ時計を寄附した。これは、感心を博す模範行為とされている。秋山君は、長い間、母校の発展のために蓄財してきた。この時計は、母校の歴史を刻み、秋山君の情熱を伝えることになる。母校は、秋山君の寄附を高く評価している。秋山君の行為は、多くの人々に感銘を与えている。

新相場の立つて 一駄廿四圓の耳

平糶の即賣會で 賣行が減法良好

新相場の立つて、一駄廿四圓の耳が売れた。平糶の即賣會で、賣行が減法良好とされている。これは、農家の生活に大きな影響を与えている。新相場の立つて、農家の収入が増える。一駄廿四圓の耳は、農家の生活を支える重要な品目である。平糶の即賣會は、農家の生活を支援するために開催されている。賣行が減法良好とされているのは、農家の利益を守るためである。

學校新築に反対 大浦村の民政黨

自治体の威信を傷む

大浦村の民政黨が、學校新築に反対している。自治体の威信を傷むと主張している。これは、大浦村の発展を阻むことになる。民政黨は、學校新築が、自治体の威信を傷むと主張している。彼らは、學校新築が、自治体の財政を圧迫すると主張している。自治体は、學校新築を進めている。しかし、民政黨の反対は、學校新築の進捗を遅らせている。

積込夫重傷 列車に轢かれ

内郷村宮城炭坑坑夫長 居住連輸車大形形車東田川

積込夫が列車に轢かれ、重傷を負った。内郷村宮城炭坑坑夫長の居住連輸車大形形車東田川で発生した。これは、労働者の安全を脅かしている。積込夫は、列車に轢かれ、重傷を負った。これは、労働者の安全を脅かしている。労働者は、労働環境の改善を求めている。政府や自治体は、労働者の安全を守るために努めている。

日東のラジオ 最新高級の ラジオ製造販賣

並に部分品提供

日東のラジオが、最新高級のラジオを製造販賣している。並に部分品提供もしている。これは、ラジオ愛好者の注目を集めている。日東のラジオは、最新の技術を用いて、最新高級のラジオを製造している。並に部分品提供もしている。これは、ラジオ愛好者の注目を集めている。日東のラジオは、ラジオ愛好者の生活を豊かにしている。

良品廉賣に勝る商略なし 磐城平町五丁目 金物問屋 釜屋商店

諸橋久太郎

良品廉賣に勝る商略なし、磐城平町五丁目、金物問屋 釜屋商店。諸橋久太郎。これは、良品を安く売るという理念を掲げている。釜屋商店は、良品を安く売るという理念を掲げている。これは、消費者の利益を守るためである。釜屋商店は、消費者の生活を豊かにしている。

クノール散

神経痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、 肩のこり、其他疼痛服用すれば奏 効的確なり

クノール散、神経痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、肩のこり、其他疼痛服用すれば奏効的確なり。これは、疼痛を効果的に軽減する薬である。クノール散は、神経痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、肩のこり、其他疼痛を効果的に軽減する薬である。これは、疼痛を効果的に軽減する薬である。

上野外 科醫院

電話 二二九番

上野外 科醫院、電話 二二九番。これは、上野の外科学科を専門とする病院である。上野外 科醫院は、上野の外科学科を専門とする病院である。これは、上野の外科学科を専門とする病院である。

電話開通 四六番を御利用下さい

磐城殖産 同株式会社 平町南町 五〇番地

電話開通、四六番を御利用下さい。磐城殖産 同株式会社、平町南町 五〇番地。これは、電話開通の案内である。四六番の電話を利用してください。磐城殖産 同株式会社は、平町南町 五〇番地にあります。

藤沼醫院

科、小兒科 入院應需 花柳病科

藤沼醫院、科、小兒科 入院應需、花柳病科。これは、藤沼醫院の診療科目である。藤沼醫院は、科、小兒科、入院應需、花柳病科を診療している。

日東商會

電話 四二八番

日東商會、電話 四二八番。これは、日東商會の案内である。日東商會は、電話 四二八番で連絡することができます。

最新高級の ラジオ製造販賣

並に部分品提供

最新高級のラジオ製造販賣、並に部分品提供。これは、最新高級のラジオを製造販賣している。並に部分品提供もしている。

平町各藥店ニテ特約販 賣致します

電話 二二九番

平町各藥店ニテ特約販賣致します、電話 二二九番。これは、平町各藥店に特約販賣している。電話 二二九番で連絡することができます。